

産業宣教 / 社会福祉専門家主管 世の中を動かした産業人宣教師(使 1:12-15)	伝道学 伝道者の内面(ガラ 2:20)	核心訓練/RU 主日 RU は伝道 24 を味わうプラットフォーム(マタ 4:19)
<p>私たちの産業人は重要な方々であるから、すべてを恵み受けることとして方向を握らなければならない。聖書には、目標も重要だが過程はみな恵みを受けるといったことだった。私たちは過程も祈りで、恵みだ。困難と葛藤は祈りの過程だ。世の中を動かした産業人がそうした。使 1:12-15 の集いには、とても重要な産業人が含まれていた。</p> <p>□序論_理由を知っている人々 1. 奴隷 2. 戦争の被害 3. 捕虜 4. 属国 5. 流浪民族 →サタンはこれを活用して、世の中と多くの人々はこの流れに流されている。 →私たちはここに福音を持って答えを与える産業宣教師だ。</p> <p>□本論 1. 真の福音を持った人々 △本質ではないこと(マタ 16:13-14)を脱ぎ捨てた人々、キリスト(使 1:1)、神の国(使 1:3)、ただ聖霊(使 1:8)、再臨(使 1:11)、このメッセージを受けて集まった人々(使 1:12-15) <b>21</b> 真の福音なら 21 の答えが来る。</p> <p>△使 1:12-15 マルコの屋上の間の働きが起きたその中に産業人がいた。彼らが宣教師に変わって産業宣教をしたのだ。</p> <p>2. 産業形態を変えた人々 △タビタ(使 9:36-43)、皮なめしシモン(使 10:1-45)、紫布商人(使 16:11-15)、天幕作り(使 18:1-4)、経済人ガイオ(ロマ 16:23) <b>10</b> の奥義 この人々に起こった答えが 10 の奥義だ。</p> <p>3. 譲歩したように見えるが完全に征服した宣教師 △世々にわたって長い間隠されていたこと(9 セットィング、ロマ 16:25)、今(ロマ 16:26)、永遠なこと(ロマ 16:27)が与えられ始めた <b>10</b> の土台 これが答えで来る。</p> <p>△21、10 の奥義、10 の土台になるように焦点合わせなさい。</p> <p>□結論_一度だけ体験できれば、そのときから変わる。</p>	<p>伝道者の活動も重要だが伝道者の内面がさらに重要だ。それゆえ、パウロは「昔に滅びるしかない私は十字架で死んだ。いまはキリストが私の中に生きていますので、その中で生きる生活」と受けた恵みを告白した。</p> <p>□序論_正しい祈り <b>9</b> セットィング この祈りを正しくすれば「神様が私とともにおられるのだな」この答えが来る。</p> <p>□本論_答えを受ける祈り <b>1</b>. 内面から生かすべき(この祈りを実際にするように助けるべき) 1) 創 1:27 2) 創 2:7 3) 創 2:1-18</p> <p>2. 出エジプト時代(崩れた状況) - 荒野 40 年を通過させた理由 1) 三つの祭り 2) 幕屋中心 3) 契約の箱(契約)中心</p> <p>3. バビロン時代(放棄状態) 1) ダニ 1:8-9 神様がくださった本来の祝福を味わうと決断する時間 ダニ 6:10 契約を握って祭壇を築くこと 2) ダニ 3:8-23 3) ダニ 6:10-22</p> <p>4. ローマ時代(だまされる状態) 1) マタ 16:16 2) ガラ 2:20 3) II コリ 5:17</p> <p>□結論_正しい伝道(証人) △私たちが 9 セットィング祈りで内面から生かす祝福を味わえば、崩れた状況、放棄状態、だまされる状態も神様が回復させられる。みなさんが 9 セットィングをすべて知っているが、私の内面に受け入れない。私たちには二つの生命線がある。からだを生かす呼吸と霊を生かす祈りだ。この二つをどのように 24 するかが鍵(key)だ。</p>	<p>RU のために祈る週だ。RU は伝道 24 を味わうプラットフォームだ。イエス様が「わたしについてきなさい」と言われた。その意味が 24 だ。すると「わたしが、あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」</p> <p>□序論_祈り(24) 1. 24 - 私の生活が祈るリズムに乗っていること(WITH、Immanuel、Oneness のリズム) 2. 24 呼吸 - 祈りに集中できるように呼吸を調節すること 3. 24 伝道 - 使 13:48(神様が救うことに定められた時刻表)をいつも見つけて味わうこと</p> <p>□本論_答え(25) 1. 内面(霊性)いやし「私の中にあること」 1) 創 1:27 2) 創 2:7 3) 創 2:1-18 生かすこと △私の中に御座が臨んだこと、私の中に神の国のみわがが起きたこと</p> <p>2. 祈りいやし「上にあること」 1) 私の中に臨んだ御座が現場に 2) 時空を超越して 3) 237 光を照らすようになること</p> <p>3. 伝道いやし「横にあること」 (私の中にあること+上にあること) 1) マタ 4:19 「わたしについてきなさい」(本論 1 味わう) 2) マコ 3:13-15 「ともに」(本論 1-2 味わう)→伝道、悪霊が追い出される 3) マタ 11:28 そのまま来なさい→「わたしがあなたがたを休ませてあげます」 ガラ 2:20 「キリストが私の中に、私がキリストの中に」 △暗やみが絶対に触ることができない。キリストについて行くから。キリストがともにおられるから。自分はすべて死んでいなくて、キリストだけいるから。 △全世界を掌握したサタンを食い止める方法- 「御座の祝福でともにいる」、「天と地の権威であなたとともにいる」「時空超越でともにいる」「237 の光とともにいる」「天と地の権威を持ってすべての国の人々に」味わうこと</p> <p>□結論_証人(永遠) ロマ 16:25 世々にわたって長い間隠されていたこと ロマ 16:27 永遠にあること。 この中にロマ 16:26 今、私がいるのだ。これが証人だ。</p>

聖日 1 部礼拝/ RU 主日礼拝  
私の人生 25 時 (イザ 6:1-13)

□序論\_今週、一週間だけでもしてみなさい。体験しなさい  
精神の病氣、心の病氣、考えの病氣、生活の病氣、肉体の病氣になった人がいる。今週の一週間だけしてみなさい。今、イスラエルが滅亡直前に置かれた。このとき、24 時を生きている私たちにそれを越えた 25 を見せられた。今週に、これを必ず体験してみなさい。どんな答えが来るのか一度見なさい。

□本論\_イザヤに三つのことを見せられた

1. 神様がイザヤに御座の祝福を見せられた-高い御座に主が座っておられたことと、そのすそが神殿に満ちているのを見た(イザ 6:1)

△三位一体の神様の中にある 9 つをセッティング(setting)しなさい

△神様とキリスト、聖霊の霊によって私に働いてください。私に最も問題になる、そこに働いてください。一週間だけしてみなさい

- 1) 創 1:27、創 2:7、ヨハ 20:22、I コリ 12:13、エゼ 37:1-11 このとき、私のいのちを生かして聖霊を受ける。この祈りをしたが、私の霊が生き返り始める。私のたましいが生かされること起こる
- 2) このとき、御座の祝福、時空を超越する働きが起きて、このときから光が照らされる。
- 3) それゆえ、空前絶後の答えが来るしかない。

△イザ 6:1 重要なのが「私は見た」そう言われている。主が王座に座しておられる。すそが神殿に満ちていた。これが礼拝で、祈り。これを必ず回復すべき

2. 三位一体の神様の臨在と 9 つがセッティング(setting)されると、これに仕えるセラフィムが見えた

- 1) 六つの翼を持つセラフィム(イザ 6:1-4)
- 2) 主の使いがモーゼの前と後に(出 14:19)!ヒゼキヤ王が祈ったとき、その日の夜に主の使いが(II 列 19:35)!これをイザヤに今見せられた
- 3) セラフィムの中の一つが炭を持ってきてイザヤのくちびるに触れ、あなたの悪と罪が許された。
- 4) その後に言われたこと(主の声を聞いた) -切り株は残るようになる

3. 9 つのセッティング(setting)で御座の祝福を見ると未来に対する答えを見せられた(切り株)

- 1) みな滅びても大丈夫だ。
- 2) 今、残ったことも、みな崩れても大丈夫だ。
- 3) 絶対に切り株はなくなる。みなさんが持っているいのちの種(すえ)は、絶対に無くならない

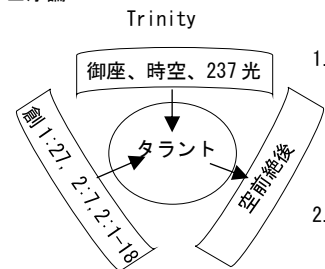
□結論\_契約を握りなさい。私の人生 25 時を見つけるべき。

落胆せずに 9 つのセッティング(setting)された御座の祝福を味わいなさい。祈るこの時間に、神様は天の軍勢を送られること。みなさんを切り株として立て、これから未来を生かされる。証拠が出てきた。この契約をしっかりと握りなさい。

Remnant 礼拝  
インマヌエル(イザ 7:14)

イザ 7:14 | 700 年 | マタ 1:23

□序論



1. 真の福音が何か発見するようになる
  - 1) 三位一体の神様が私の永遠の背景
  - 2) 死んだ私の霊が生き返らせてくださる
  - 3) 誰も奪っていくことができない空前絶後の答えが!(ヨセフ、ダビデ)
2. 真の祈り 3. 真の伝道

□本論\_インマヌエルの奥義 5 つを握るべき

1. 捕虜-失敗、絶望の中に行くように見えるが事實は宣教しに行くこと
  - 1) 根-根源の根は契約で、キリストが根
  - 2) 切り株-この切り株は先立って福音伝えた先輩たち、大人たち
  - 3) 新芽(RT) -そして新芽が出て木になる。この木は森を成し遂げる

2. 解答-すべての問題に対する解答がインマヌエル(イザ 7:14)

- いくら大きな問題がきても解答はインマヌエル
- 1) 処女がみごもって男の子を産む-メシヤ、キリストになる人は人間の子孫ではない
  - 2) インマヌエル-神様が私たちとともにおられる。
  - 3) 暗やみの権威は完全に崩れる

3. 正確なみことば(イザ 40:1-31) -世の中を生かす正確なみことばをくださった。

- 1) 草は枯れ花はしぼむ、主のみことばは永遠に立つ
- 2) 神様を悪霊、人が作ったものと比較することができるのか
- 3) ただ主を待ち望む者は新しい力を受ける

4. 使命(イザ 60:1-22)

- 1) 起きて光を放ちなさい-あなたがたが光だ
  - 2) 遠方から Remnant が帰ってくる(宣教)。
  - 3) 20 - 22 節最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる
- △すべての問題は宣教の始まりで、すべての解答はインマヌエルするキリストだ。すべてのインマヌエルの正確な力のみことばだ。

5. 真のインマヌエルの身分と権威

- 1) 見張り人として立てた 2) 大路を造りなさい
- 3) 国々の民のために旗を揚げなさい。

□結論\_この事実を分かなければまた、属国、流浪民族にならなければならない。また、3 団体に仕える。しかし、この事実分かればすべてが回復する。

聖日 2 部礼拝/英語礼拝部献身礼拝  
永遠なこと (イザ 40:27-31)

□序論

神様が最も重要に見ること

1. モーセ 5 書-モーセは多くの奇跡と答えを受けたが、それよりさらに貴重なのがみことばを残したこと
2. 大・小預言書-王、祭司、預言者の活動よりさらに重要なのがみことばを残して伝達
3. パウロ書簡-パウロを大きく用いられた理由の中の一つがみことばを記録して残すことができる能力
4. 聖書翻訳-ルターを大きく用いられた理由、平民も聖書を見ることになる、印刷術もこのときに合わせて
5. 礼拝-人間の行為のうち一番重要な行為、礼拝の中で最も重要なのは正確なみことばを握ること

△通訳する方々、すべての事業される方々、私たちの仕事をどのようにしなければならぬのか



- 1) 三位一体の神様が御座の力で時空を超越、237 に光を放つ、この祝福が私の仕事の中に
- 2) 創 1:27、創 2:7、創 2:1-18 の祝福が私の仕事の中に
- 3) このとき、誰も見られない空前絶後の答えが来る。

△ここで私たちは永遠の宣教師となる。

△今日の本文をよく見て、これを伝えなければならない

- 1) 上から 2) 道 3) 美しい知らせ 4) 新しい力

□本論

1. 高い山と屋根の上から伝えなさい(イザ 40:1-8)
  - 1) すべての人が聞けるように 2) なくなること-草は枯れ花はしぼむが
  - 3) 永遠なこと-主のみことばは永遠に立つ。

2. 滅亡直前にある人に急いで伝えなさい

- 1) 声をあげよ-急だから 2) 羊の群れを飼い、腕で抱いて導かれる。
- 3) 比較-神様を誰と比較できるのか

3. 使命者に知らせなさい

- 1) ヤコブよ!イスラエルよ!(27 節) 2) 証拠(28 節) 3) 新しい力(31 節)

□結論\_驚訓練

△驚は子が飛ぶのを待たないで出して投げる。岩にあたる直前につかまえて自ら飛ぶことができる時まで投げる。

△神様が私たちに苦しみを与えられるのは、私たちが飛ぶことができるようにするためだ。